

令和3年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を3日間集中審査

一般会計決算は、15名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式となった下水道事業会計決算は建設環境委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和3年度決算の特徴点について

問 特徴点とどのような状況であったか説明願う。

答 一般会計の歳入は前年度比6.9%減、歳出は前年度比9.8%減で、感染症対策に係る歳入歳出の増もあったが、特別定額給付金の皆減等の影響で大幅減となった。財務諸表から見ると、貸借対照表では負債の減少は進んでいるが、資産の増加は一時的なものであるため、国庫補助金など特定財源を可能な限り活用した財政運営や施設の老朽化対策に、より一層取り組む必要がある。

市ホームページのやさしい日本語翻訳機能について

問 新しい翻訳機能を試行導入した効果や市民の反応について伺う。

答 英語訳のページの閲覧数とほぼ同数の閲覧があったことから、外国人の方などに広く利用していただき、必要な情報を届けることができたものと認識している。なお本語学校に協力を依頼しアンケートを実施したところ、今後も日本語翻訳機能を活用したいとの回答を複数いただいた。

電子決裁システムについて

問 システム導入の内容と効果について伺う。

答 令和4年2月の導入後の状況だが、2か月間で起案及び收受した文書のうち7割程度が電子決裁システムによる処理を行っている。処理状況がシステムで確認できるため、決裁状況に関する問い合わせは減少しており、特に出先機関等では事務

生活困窮者自立支援事業について

効果があり、市内事業者支援の効果があった。

問 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援の実施状況等伺う。

答 総合支援資金の再貸付を終了した世帯等に支給し、求職活動等を支援した。自立支援金は単身世帯月6万円、2人世帯月8万円、3人以上世帯月10万円を3か月間支給し、再支給要件に該当の世帯は最長6か月支給求職活動では早期就労へ支援を行い就労者数14人。支援金の支給実績は新規73世帯、再支給37世帯で延べ支給月数は280か月、支給額2250万円。

マイナンバーカード申請サポートについて

問 年間を通じての取り組みを確認したい。

答 市役所の窓口では年間を通じて行っており、令和3年度は2344件だった。12月に福祉センターと市内の日本語学校に出向き、合計18件の出張申請サポートを実施。年間の申請数の約37%が申請サポートを利用した。また、タブレットを2台導入し、QRコードや内部カメラですぐにオンラインでの申請ができるようになり、待ち時間の短縮と紙資源の削減を図ることができた。

キャッシュレス決済ポイント還元事業について

問 課題認識等も踏まえて、事業の総括を伺う。

答 本事業はポイント還元額の想定が大変困難で、キャンペーン内容の設定と予算の積算に苦慮しているが、ポイント還元額から見て市内で1か月間に約9870万円の経済

ファミリー・サポート・センターについて

問 提供会員数の増加のための取り組みは。

答 会員を増やすための取り組みとして、市の広報と社会福祉協議会の広報紙、ホームページでの案内を定期的に行ったほか、ポスターやリーフレットを市内の公共施設等へ配布し、母子保健手帳交付時や乳幼児健診時に保護者へチラシやリーフレットの配布を行った。新型コロナウイルス感染症の流行の間を縫って提供会員講習会を開催し、新たに8名が会員登録し協力いただいている。

空き家住宅対策について

問 所有者、市、事業者等の共同で利活用を進めることがふさわしい物件もあると思うが、そうした方向での検討をしているか伺う。

答 基本的には個人の所有物であることから、活用等については所有者の責任で行うということと考えている。市では、空き家管理のパンフレットの配布や、相談窓口の紹介を行いながら利活用等を促しているが、今後は様々な事例を含め、検討していきたい。

学校教育における指導関係事業について

問 令和3年度の委託事業について伺う。

答 令和3年度は、モデル地区として幼保小の円滑な接続連携研究事業、国際的なスポーツ大会を契機とした体力向上事業、研究指定校として授業改善推進拠点校事業、人権尊重教育推進校事業を受けており、決算総額は450万561円。コロナ禍でも、都教育委員会の研究指定を積極的に活用することで各学校における教育課題の解決に迫り、児童・生徒の学びの充実に取り組みすることができた。

スタディ・アシスト事業について

問 人数や具体的な取り組み、成果等伺う。

答 中学校3年生の受験に特化した学習支援事業である。令和3年度は25名が参加し、参加者みんなが自分たちの目標とする学校等に進学している。内容は、週2回の講習のほか、夏期講習、冬期講習を組み、全5科目学習を行った。進学先は、近隣の都立高校に多く進学しており、非常に成果が出たものと捉えている。



▲令和3年度一般会計決算を起立多数で認定

令和3年度 会計別決算額

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)
一般会計	29,802,966,403	28,293,774,665	1,509,191,738
特別会計			
国民健康保険特別会計	6,712,773,910	6,326,913,210	385,860,700
介護保険特別会計	4,845,317,885	4,615,208,399	230,109,486
後期高齢者医療特別会計	1,304,772,925	1,276,644,247	28,128,678
総合計	42,665,831,123	40,512,540,521	2,153,290,602

下水道事業会計

(単位：円)

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,699,041,672	1,337,852,434
資本的収支	529,955,938	1,107,650,462

令和3年度 一般会計決算の款別内訳

()内の数字は合計に占める割合

